

平成28年度 書道Ⅱ シラバス

沖縄県立具志川城高等学校

| 校長印 | | 教頭印 | | 担当者 | | |
|-------------|---|-------|--|--|--|--|
| 教科 | 芸術科 | 科目 | 書道Ⅱ | 対象学年 | 2学年 | |
| 担当クラス | 1・2組 | 教科書 | 教育図書 | 単位 | 2単位(70時間) | |
| 学習目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・書道が日本の芸術、伝統文化であることを歴史を通して理解させる。 ・仮名作品制作では、伝統的な表現様式を継承していく力を身につけさせる。 ・基礎を踏まえた上で、豊かな表現力をつけさせる。 | | | | | |
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・古典作品について、理解し表現できたか。 ・篆書や隸書、草書の基本・用具用材について理解できたか。 ・日本独自の芸術に対して理解できたか。 | | | | | |
| 月 | 配当時間 | 単元 | 学習目標 | 学習内容 | 留意点 | 評価 |
| 一 学 期 | 4 | ・篆書 | ・篆書について歴史的な概略を理解させる。 | ・篆書について歴史・基本的な特徴を学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・用筆、字形、分間、布白について理解しているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・篆書の特徴が理解できているか。 1、逆筆・藏鋒 2、中鋒 3、太さは一定 4、横画は水平 縦画は垂直 5、字形は縦長 左右相称。 ・用筆、運筆法や構成法を習得しているか。 |
| | 5 | ・鑑賞 | ・歴史を理解させ、主な作品を鑑賞させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・篆書の古典作品鑑賞 ○泰山刻石 ○甲骨文 ○小臣餘犧尊 ○石鼓文 ○虢季子白盤 ○篆書張茂先勵志詩 | | |
| | 6 | ・臨書 | ・篆書の用筆法、運筆法、結構法、字形のとり方、まとめ方について、理解させる。 | ・篆書の基本点画の練習をする。(泰山刻石) | | |
| | 6 | ・作品制作 | ・篆書の臨書作品を制作させる。 | ・篆書の古典作品の臨書を行う。 | | |
| | 6 | ・篆刻 | ・篆刻について理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・篆刻制作における基本的な方法・用具について学ぶ。 (デッサン、布字、彫り) | | |

| | | | | | | | |
|-------------|----|---|-------|---|---|---|---|
| | 7 | 4 | ・雅印制作 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の印（姓名印）を彫る。 ・作品として仕上げる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各自姓名の篆書を、辞書を使って様式別に調べる。 ・調べた文字を印材に布字し、彫る。 ・作品として仕上げさせる。 ・作品相互評価及び鑑賞。 | <ul style="list-style-type: none"> ・印材に布字する前に正確な文字を覚えさせる。 ※印刀の持ち方に注意する。（怪我しないように） | |
| 二 学 期 | 9 | 2 | ・隸書 | ・隸書について歴史的な概略を理解させる。 | ・隸書について歴史・基本的な特徴を学ぶ。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・隸書の特徴を理解できているか。 1、横画—水平 2、字形—扁平 3、起筆—逆筆 または蔵鋒 4、運筆—中鋒 5、波勢・波磔 ・用筆、運筆法や構成法を習得しているか。 ・表現の効果・効用について理解できているか。 |
| | | 2 | ・鑑賞 | ・歴史を理解させ、主な作品を鑑賞させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・隸書の古典作品鑑賞。 ○礼器碑 ○石門頌 ○敦煌漢簡 ○居延漢簡 ○崔子玉座右銘 | | |
| | 10 | 6 | ・臨書 | ・隸書の用筆法、運筆法、結構法、字形のとり方、まとめ方について理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・隸書の特徴（横画—水平、字形—扁平、起筆—逆筆・蔵鋒、運筆—中鋒、波勢・波磔）を理解させ、用筆・運筆法、字形のとり方に注意して臨書する。 (礼器碑・石門頌) ・隸書の古典作品臨書 | <ul style="list-style-type: none"> ・波磔に注目させる。(波磔を力強く押出す) ・左軽右重の力関係。 | |
| | | 2 | ・作品制作 | ・隸書の臨書作品を制作させる。 | ・隸書の古典作品を半切に臨書する。 | <ul style="list-style-type: none"> （半紙） （半切） ・筆の弾力を生かし、張りのある線で表現。 | |
| | | 2 | ・作品鑑賞 | ・半切作品を鑑賞させる。 | ・作品相互評価及び鑑賞。 | | |
| | | 2 | ・鑑賞 | ・歴史を理解させ、主な作品を鑑賞させる。 | ・今までに習った書体から、自分の好きな書体を選択する。 | | ・表現の効果・効用について理解できているか。 |

| | | | | | | | |
|-------------|----|---|--------|---|--|--------------------------|-----------------------------|
| | 12 | 8 | ・創作 | <p>・今までにならった書体から好きな書体を自分で選び、創作作品を作らせる。</p> <p>・作品の表具について学ばせる。</p> | <p>・半切に、好きな書体の作品をまとめ仕上げてみる。</p> <p>・裏打ち</p> <p>・パネル作り</p> | <p>・選文は前もってやっておく。</p> | <p>るか。</p> |
| | | 2 | ・鑑賞 | <p>・仕上げた作品を鑑賞させる</p> | <p>・作品相互評価及び鑑賞。</p> | | |
| 三 学 期 | 1 | 2 | ・仮名の書 | <p>・仮名の書道史的意義と美の展開について理解させる。</p> | <p>・仮名について歴史・基本的な特徴を学ぶ。</p> | | <p>・仮名の特徴が理解できているか。</p> |
| | | 2 | ・鑑賞 | <p>・歴史を理解させ、主な古典作品鑑賞させる。</p> | <p>・仮名の古典作品鑑賞。 ○関戸本古今和歌集 ○針切</p> | <p>・細かい箇所にも注意して鑑賞する。</p> | |
| | | 1 | ・連綿 | <p>・連綿について理解する。</p> | <p>・連綿について理解し、部分、全体を練習する。</p> | <p>・間違えて覚えられないようにする。</p> | <p>・仮名の基本的な技法や、表現力。</p> |
| | | 1 | ・散らし書き | <p>・散らし書きについて理解する。</p> | <p>・散らし書きについて理解し、練習する。</p> | | |
| | 2 | 1 | ・草書 | <p>・草書について歴史的な概略を理解させる。</p> | <p>・草書の基本的な特徴と草書学習の要点を理解させる。</p> | | <p>・草書の特徴が理解できているか。</p> |
| | | 1 | ・鑑賞 | <p>・歴史を理解させ、主な古典作品鑑賞させる。</p> | <p>・草書の古典作品鑑賞。 ○真草千字文 ○十七帖 ○書譜 ○自叙帖 ○風信帖・第三通</p> | | |
| | 3 | 4 | ・臨書 | <p>・草書用の筆法、運筆法、結構法、字形のとり方、まとめ方について理解させる。</p> | <p>・草書の特徴を理解させ、用筆法、運筆法、結構法、字形のとり方に注意して臨書する。</p> | | <p>・用筆、運筆法や構成法を習得しているか。</p> |

| | | | | | | | |
|--|--|---|-------|-----------------------------------|-------------------------|-------------------|--|
| | | 6 | ・作品制作 | ・草書の古典作品の中から書きたい作品を選択し、臨書作品制作を行う。 | ・半切に、選択した古典作品を臨書してまとめる。 | ・選文に時間かからないようにする。 | |
| | | 1 | ・鑑賞 | ・仕上げた作品を鑑賞する。 | ・作品相互評価及び鑑賞。 | ・生徒同士で批評しあう。 | |
| | | 1 | ・まとめ | ・1年分の作品を鑑賞する。 | ・1年間を振り返って、授業の感想をまとめる。 | ・作品を持ち帰らせる。 | |